

Title	経済学会事業報告(昭和59年度)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1985
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.78, No.2 (1985. 6) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19850601-0105

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会会則

- 第1条 本会は慶應義塾経済学会 (The Keio Economic Society) と称する。
- 第2条 本会は経済学の研究およびその奨励、ならびに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
- 1 研究会の開催
 - 2 機関誌「三田学会雑誌」およびその他研究成果の刊行
 - 3 講演会、資料展覧会の開催
 - 4 他の学会および諸団体との連絡
 - 5 その他本会の目的を達成するため適当と認める事業
- 第4条 本会は慶應義塾大学経済学部所属専任者のうち経済学を専攻する者をもって組織する。ただし特別会員をおくことができる。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 1名
 - 2 副会長 1名
 - 3 委員長 1名
 - 4 副委員長 1名
 - 5 委員 若干名
 - 6 監事 2名
- 第6条 会長、副会長、委員長、副委員長、委員および監事は、総会において決定する。
- 第7条 会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐する。委員は委員会を組織し会務を執行する。委員長は委員会を代表し会務を統轄する。副委員長は委員長を補佐する。監事は会計を監査する。
- 第8条 会長および副会長の任期は1年、委員長、副委員長、委員および監事の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。
- 第9条 会長は年一回総会を招集する。ただし必要に応じ臨時総会を招集することもできる。
- 第10条 会員は機関誌「三田学会雑誌」およびその他本会刊行物の配布を受けることができる。
- 第11条 本会の経費は賛助金、補助金、会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 第14条 本会の事務所は慶應義塾経済学部研究室に

置く。

経済学会委員 (1985.4 改選)

- 会長 黒川俊雄
副会長 安川正彬
委員長 大熊一郎
副委員長 高山隆三
委員 佐々波楊子 川又邦雄 杉山伸也
辻村和佑 寺出道雄 杉浦章介
延近 充
監事 富田重夫 平野絢子

経済学会事業報告 (昭和59年度)

<刊行物>

三田学会雑誌77巻1号から77巻6号まで刊行
Keio Economic Studies Vol. 20, No. 2 を刊行

<報告会>

5月17日 「為替レート決定理論の検討」

嘉治佐保子

6月21日 「自由貿易帝国主義と東アジア」

杉山伸也

<特別報告会>

4月25日 「Deregulation and Monetary Policy」

ワシントン大学教授 M. G. ハジミカラキス

5月29日 (商学会共催) 「Risk Management: As Interdisciplinary Discipline」

ミネソタ州立大学教授 A. ウィリアムズ

6月28日 「レーガノミクスとは何か」

青山学院大学教授 M. ブロンフェンブレンナー

10月19日 (小泉基金共催) 「Monetarist Approach to the Balance of Payments Theory」

コーネル大学教授 S. C. ツイアン

11月8日 「Macroeconomics since Keynes: Some Methodological Lessons?」

ロンドン大学教授 M. ブローグ

11月9日 (小泉基金共催) 「Alternative Production Structures in Trade Theory」

ロチェスター大学教授 R. W. ジョーンズ

11月30日 「中国における近代——スミスとマルクス——」

中国社会科学院経済研究所教授 朱紹文

12月7日 (小泉基金共催) 「ドイツにおける最近の

- 社会経済情勢と団体交渉」
 ボッフム大学教授
 フリードリヒ・フェルステンベルグ
- 12月12日 「Market Structure and Performance,
 The Role of International Factors in a
 Trade Liberalization」
 世界銀行調査部 浦田秀次郎
- 12月20日 「Exchange Rate Policies, Reputation
 and Wage Formation」
 ストックホルム大学教授 Henric Horn
- 2月27日 「貨幣供給内生化のもとにおける金融政
 策の効果」東北大学 鴨池 治
- 3月11日 (小泉基金主催) 「産業革命期のアイル
 ランド」
 ダブリン大学トリニティカレッジ教授
 カレン
- <講演会> (学生向け)
 10月12日 「福沢諭吉——その人間と思想」
 飯田 鼎
- <会長講演会>
 12月13日 「レオン・ワルラス——生誕150年」
 福岡正夫
- <経済学会大会>
 6月16日 「徳川日本の世界史」 速水 融
 「現代経済と産業政策——フランス経済
 を中心として——」フレデリック・ジェニー